

バス事業 安全報告書

< 2007年 >



丹後海陸交通株式会社

平成19年11月1日

丹後海陸交通株式会社 安全報告書
(バス事業)

平素は丹海バスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

従前より弊社では、経営トップをはじめ全社員が輸送の安全の重要性を深く認識し、安全最優先の取組みを行ってまいりました。

本報告書は、輸送安全マネジメント導入を機会に、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。お客様からの声を今後の安全輸送に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

丹後海陸交通株式会社 取締役社長 松下 英秋

1. 基本的な方針

(1) 「一致協力による安全確保」

全社一致協力して輸送の安全確保に努める。

(2) 「規程遵守」

安全に関する法令および規程をよく理解・遵守し厳正、忠実に職務を遂行する。

(3) 「状況理解」

常に輸送の安全に関する状況を理解するように努める。

(4) 「確認の励行」

職務の遂行にあたり推測によらず確認の励行に努め、疑義あるときは最も安全と思われる取扱いをする。

(5) 「人命優先」

事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。

(6) 「情報の透明性」

情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。

(7) 「改善」

常に問題意識を持ち、輸送の安全にかかる業務上の改善を行わなければならない。

2. 輸送の安全に関する安全目標

2007年度 バス輸送の安全目標

輸送の安全に関する目標

- (1) 人对車両 対人事故を発生させない。(前年度発生 3件)
- (2) 車両相互 車両相互の事故を発生させない。(前年度発生12件)
- (3) 車両単独 車両単独の事故を発生させない。(前年度発生11件)

3. 事故の発生状況とその再発防止措置

2006年度、自動車事故報告規則第2条の事故報告はありませんでした。引き続き、職員一同、連携を保って安全運行に心がけます。

4. 輸送の安全に関する重点目標

(1) 高齢者の車内および乗降中の事故の撲滅

高齢者人口が増加する中で、65歳以上の女性は日中にバスを利用する機会が多い。高齢者の行動特性および身体特性を踏まえたご案内と運転操作を徹底する。

(2) 車庫内・駐車場内事故の撲滅

車庫内・駐車場内の構造物や他の駐車車両に対しては、安全方針の特に第3項「状況の理解」および第4項「確認の励行」に沿って、安全を確保する。

(3) 走行時の車両故障の減少

車両整備においては、乗務員との連携やメ - カ - の協力により、安全方針第6項「情報の透明性を確保」し安全方針第7項「常に問題意識を持ち」ながら取組む。また、整備時の部品交換内容の見直しを実施する。

5. 輸送の安全に関する教育および計画

- (1) 輸送の安全確保の実効性を高めるため、社長トップの安全推進会議を開催し、運行管理者(補助者)資質向上に取り組むとともに、乗務員教育の具体的な指導計画を立て、教育を行っていきます。
- (2) 外部研修機関、適正診断の活用をします。
- (3) ヒヤリ・ハット情報の報告制度を導入し、日々の業務に反映させます。

6. 輸送の安全に関する改善方法

2007年度中に内部監査体制を確立し、「安全方針・目標・計画」の取組み状況を定期的にチェックし、安全上の問題点があれば、積極的に改善に取り組めます。

7. 地元の皆さまとの連携とお願い

(1) 「お客様の声をかたちにしていきます」

より安全で信頼されるバス運行を行うため、みなさまからお寄せいただいた声を役立てていきます。

2007年度は、「お客さまご意見箱」を全路線バス車両に設置いたしました。

また、バリアフリ－認定車両ノンステップバス2両(中型)を導入いたしました。今後も計画的に導入いたします。

(2) 「高齢者のお客さま、バスの乗り降りにご注意ください。」

降車の時、必ずバスが止まってから席をお立ちください。また、バスの乗り降りには、十分足元に注意してください。

8. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

ご連絡先

丹後海陸交通株式会社 営業部 営業企画課

京都府与謝郡与謝野町字上山田 641 番地 1

TEL 0772 42 0323

FAX 0772 42 0349

E-mail webmaster@tankai.jp